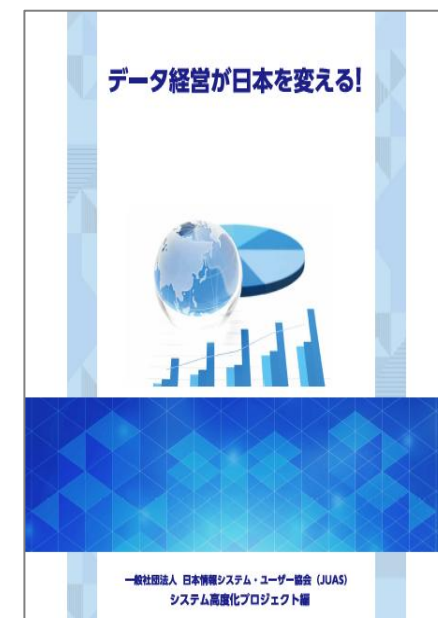


Jフェス（2025年度活動報告会）

# BXD実現に向けた活動の報告

2026年4月9日

JUAS BX by Digital 研究会 (BXD研究会)



- ✓ 研究会活動の概要／メンバー紹介
- ✓ 「BX by Digital 研究会」活動の主旨
- ✓ 2025年度 BXD研究会の活動内容
  - 日本の先進的な大手企業2社のDX事例研究
  - 問題点とその解決を担う役割
  - まとめ：DXを成功に導く3つのポイント

# 研究会活動の概要／メンバー紹介

# JUAS BX by Digital 研究会 活動概要／メンバー紹介

本研究会は2022年の報告書「データ経営が日本を変える！」において、ビジネスとITが一体化した「データ経営」を実現するための方法論や組織のあり方を提言しました。その後も「データ中心型ビジネスアプローチ（DOBA）」の本質について議論し、2025年度からは「データとデジタルの力でビジネスをトランスフォームする」ことを標榜し、「BX by Digital研究会」として各自の実践に基づく討議を進めています。

## 参画メンバー

(氏名50音順・順不同。所属・役職は現時点)

赤司 浩文	株式会社東レシステムセンター 基幹システム近代化プロジェクト室 シニアアドバイザー
海老原 吉晶	株式会社NTTデータバリュー・エンジニア コーポレート管理本部 管理部長
金井 啓一	日本テラデータ株式会社 コーポレート・エバンジェリスト／エグゼクティブ・コンサルタント
菊川 裕幸	BX by Digital 研究会 主査
白榮 健司	本田技研工業株式会社 コーポレート管理本部 デジタル統括部 グローバルサービス・データプラットフォーム部 データ戦略・ガバナンス課 課長 主幹
鈴木 祐一	スズキ株式会社 ITシステム部 開発基盤・モデリング課 課長
赤 俊哉	ITエンジニア／コンサルタント
高橋 章	Metafindコンサルティング株式会社 シニアコンサルタント
三輪 一郎	株式会社プライド 取締役常務執行役員 シニア・システム・コンサルタント
森 弘之	JFEシステムズ株式会社 企画・管理本部長 常務執行役員
<事務局>	
五十井 薫	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

# 「BX by Digital 研究会」 活動の主旨

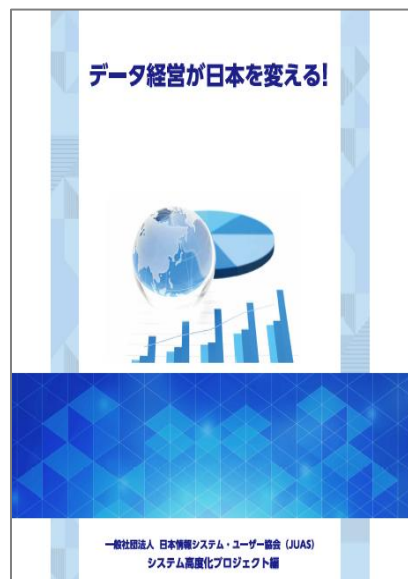
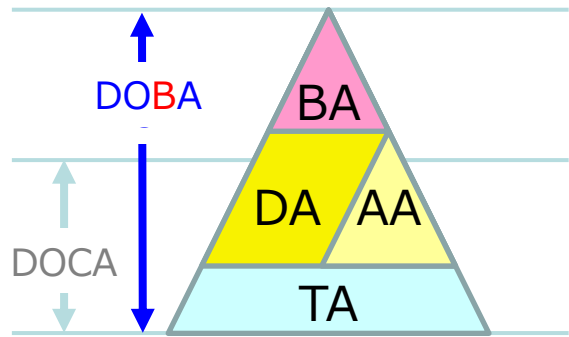
# 「BX by Digital 研究会」活動の主旨

- 2016年：「システム高度化プロジェクト」として活動を開始
- 2022年4月：「データ経営が日本を変える」を上梓
- 2025年4月：「BX by Digital 研究会」として活動を継続

## 【2016年～2024年の成果】

- 3.5層の日本的EAモデルを提唱
- DOBAによる企業内情報システムの高度化から  
企業間の情報連携に scope を拡大

### 3.5層の日本的EAモデルを提唱



2022年4月26日全文公開

## 【2025年度以降の活動趣旨】

- 目的は「Business Transformation」  
「Digital」は手段であることを再認識
- scope は、企業内から企業間へ
- 「Sustainable Business Transformation」を標榜  
長期的に継続可能な「日本的Digital活用」を議論する

※Sustainableとは  
反対語は「刹那」「享楽」（目先の今だけ嗜好）

# 2025年度 BXD研究会の活動内容

# 日本の先進的な大手企業2社のDX事例研究

## A社の特徴

- DXの前提として、全社データモデリングの方針を定めた
  - 全てを網羅するのではなく、「**概念データモデル**」レベルで各部署が合意できれば良いという考え方(割り切り)
  - 各部署間で「**データ・オーナー**(管理・更新などの業務担当)」を決め、**全社の合意**形成を実施

## B社の特徴

- システムを明確にふたつに分け、データの扱いに相違があって良しとした
  - “**硬い**”領域(**基幹系 SAP**) : 1円単位で整合性・正確性を追求、カスタマイズを認め周辺システムを作らず
  - “**緩い**”領域(**データ基盤**) : データ活用を担うが、第3正規形などの厳密なデータモデリングは行わず、各業務に必要なデータを持つハブ機能に特化

## 両社の共通点

- 「何を解決するか」が最初にある(ビジネス上の目的・Will)
- **何を大切にするかを明確に意識し、それをどうコントロールするかを決めると、データの価値が際立つ**
- データモデルを綺麗に作ることが目的ではなく、ビジネス目標のためにデータモデリングやアーキテクチャ設計などがある

# 問題点とその解決を担う役割

## 経営層のシビアな問い：「データでどう儲かるのか？」

- ・DX銘柄企業でも、経営トップや担当役員が交代するタイミングで「結局、これだけ投資して売上や**利益はどれだけ増えたのか？**」という厳しい指摘をされる
- ・**データの価値を経営トップや現場に理解させる**ために、「データを資産として貸借対照表に計上できないか」検討したが、データの価値は「状況や使い方」によってゼロにも無限大にもなるため、資産化は断念した
- ・経営者が最も関心を持つのは、「販売・集客などによる売上・利益のアップ」と「リソースの採用・育成による戦  
力維持・離職防止」の2点であり、**データで定量的に計られる必要がある**

## 解決を担う役割

- ・経営戦略実現のために必要なデータを取得・整備するなどの「**データ戦略**」の**策定**が極めて重要
- ・上記の役割を担うのが**CDO\***であり、**ビジネスとデータの橋渡し**をし、上記の問題点を解決する

\* CDO(Chief Data Officer : 最高**データ**責任者)

# まとめ：DXを成功に導く3つのポイント

- DXを成功に導くために、経営層に理解させ、投資を引き出し、成果を上げる3つのポイントをまとめた。

## 1. 目的先行

- ・データ整備を自己目的化せず、「どう儲けるか(ビジネス課題の解決)」という経営戦略を起点とする。経営戦略実現のためにデータ・マネジメント、システム構築を行うという順番である

## 2. メリハリの効いたアーキテクチャ

- ・目的から逆算し、1円単位の精度が必要な「硬いデータ(基幹系)」と、スピードと柔軟性を重視する「緩いデータ(データ活用系)」を明確に切り分け、各々の目的に合わせたアーキテクチャを策定する

## 3. CDOロール\*の配置

- ・経営戦略をデータ戦略で表現し、両者を繋ぐ役割として「CDOロール」を企業内に明確に位置づける。従来のCIOとは全く異なる役割である

\***CDOロール**：データ戦略の策定・推進を担う。ビジネス目標をデータ戦略(戦略的データ活用)に結びつける役割

# ご視聴ありがとうございました。

ご連絡は事務局まで



JUAS Webサイトより全文Pdfにてダウンロードいただけます。  
[https://juas.or.jp/library/research\\_rpt/various/#data](https://juas.or.jp/library/research_rpt/various/#data)

Amazon Kindle版はこちら。  
<https://www.amazon.co.jp/dp/B0BB2D9B5X>